

第1回議会報告会での意見等への回答(回答保留分)

項目	ご意見の要旨	回 答
瓦れき	議会で議決があったが、市とともに説明すべき。(北区)	市の説明会には、議員も積極的に参加したいと考えています。
新潟州構想	総務委員会でもっと報告してもらいたい。(北区)	県と政令市新潟が連携して中央集権から地方分権、地域主権へと転換していくことが、地域活性化に大いにメリットがあるという観点ですが、議会でも様々な意見があり、新潟州構想検討委員会での報告書の内容等をいろいろ研究、検討していきたいと思いをします。
	目的がはっきりしない。議員としての意見を聞きたい。(東区)	
水と土の芸術祭	何故今回も開催するのか。議会は評価をしたとのことだがなぜか。もう少し考える必要がある。(北区)	水と土の芸術祭は、先人たちへの感謝と地域の歴史・文化・芸能を掘り起こし、光を当てるとともに、昨年東日本大震災を受けて、地域と生命の再生を見つめなおすこともテーマとしています。また、前回の反省点を踏まえつつ、市民や地域が主役の芸術祭となります。議会としては、その成果についても注視していきます。美術館については、具体的な整備案があれば議会の方にもご意見をいただきたいと思いをします。
	水と土の芸術祭にお金を使うよりも美術館を整備すべき。(秋葉区)	
BRT	環境建設常任委員会で議論があったようだが、じっくりと折衝してほしい。古町活性化や高齢者にやさしいという理由は当たらないのではないかと。市民ニーズも確認した議論してほしい。(東区)	BRTは、都心におけるバス輸送の効率化・円滑化を図り、公共交通の利用環境の課題を解消し、まちなかにふさわしい公共交通のサービス提供と、新潟市の顔であるまちなかに新たな魅力が加わるような洗練されたデザインの車両や駅等の導入を目指すとしています。議会としても採算性の考慮や既存バスの改善なども含め、メリット・デメリットを示しながら、民意をくみ上げ市民合意を図る必要があること、BRT導入ありきの議論にならないように確認しています。
	中央区だけでなく全市で考えていくべきではないかと。(北区)	
地域活性化	地域の商店街の話が説明会で出てこない。地域活性化と言いながら、BRTにしてもお金かけるのは中央区に集中している。(北区)	商店街の活性化に取り組むべき地域は古町に限ったことではないと認識しています。計画策定やモデル事業、あるいは空き店舗の活用など、賑わいの創出に意欲的に取り組む各商店街に向けて様々な支援事業があり、商店街の環境整備としては省エネ設備支援なども行っています。また、これら施策の効果等については議会として注視していきます。
老人憩の家	老人入浴施設は、定期券ではなく回数券にすべきでは？(北区)	ご意見を執行部にお伝えしたところ、有料化が本年7月から実施されることから、いただいたご意見については、今後の利用状況等をみていきたいとの返答がありました。
	老人憩いの家のテレビのデジタル化に伴いチューナーをお願いしたがだめだった。(南区)	ご意見がありましたことを執行部にお伝えしました。

項目	ご意見の要旨	回 答
教育	<p>教職員の中に臨時が多いと聞いているが、市は率先して雇用を増やすべきではないか。(中央区)</p>	<p>平成24年5月現在、教職員の総数は3870名で、そのうち正規職員は3750名、非正規職員(講師)は120名となっています。年度当初(4月1日)と児童生徒数基準日(5月1日)とで児童生徒数に変動の可能性があるため、非正規職員(講師)を採用することで1クラスの定員を維持するなど柔軟なクラス数の編成に対応しています。また、育児や病気などのため長期休職中の正規職員の代替としても140名の講師を採用しています。</p> <p>正規教職員定数に占める非正規職員(講師)の割合は3.1%で、代替の講師を合わせても7%であり、決して多いとは考えていませんが、今後も可能な限り正規職員を採用されるよう、議会としても注視していきます。</p>
	<p>地域教育コーディネーターについて、本来良い制度だと思うが、その運営、実態は新潟市が目指しているものとは程遠いものが感じられる。(西区)</p>	<p>地域教育コーディネーターは、地域活動や教育などに意欲を持った地域の人材を学校が認定し教育委員会が委嘱した非常勤職員です。コーディネーターは、年7万6千円を消耗品代などとして活用することができますが、その用途内容については適正に執行されるよう議会としても注視していきます。</p>
市職員	<p>正規職員は減っているが非常勤職員は増えている。非常勤職員の賃金水準、全体像が示されていない。どのようにしたら知ることができるか。(江南区)</p>	<p>市報にいがた第2331号(H23. 10. 30)において、人事行政の透明性を一層高めることを目的として、採用、勤務条件などを含む人事行政全般の状況が公表されています。市報にいがたは、市ホームページからもご覧いただけます。また、詳しい内容は、平成23年10月17日の市公報にも掲載しており、市ホームページ「市政情報」の「条例・規則・要綱・公報」コーナーからアクセスできます。</p> <p>平成21年度と22年度の比較では、非常勤職員は24名の増、一般職員は116名の減で、約9億9千万円の人件費の減となっています。臨時職員(100名増)を含めても、約7億9千万円の人件費減となっています。</p>
	<p>支所長が再任用職員だが4時に退庁している。議会では問題にしないのか。(秋葉区)</p>	<p>再任用職員の勤務時間は週29時間の短時間勤務職員のため、勤務時間は正職員とは異なります。参考までに正職員は週38時間45分となっています。議会でも支所長の任用のあり方については検討が必要と考えています。</p>
議会報告会	<p>区の選出議員を外しているがなぜか。(北区)</p>	<p>議会報告会は、住民の皆さまに議会活動の内容をお知らせすることや、市政や議会に対するご意見をお聞きすることを主眼に開催するものですので、議会としては現状どおり実施していきたいと考えています。</p>
	<p>地元選出議員がないのが残念。地元の議員から出てきてもらいたい。(西蒲区)</p>	

項目	ご意見の要旨	回 答
その他	中央環状道路について、沿線住民に何の相談もなく変更した。全体の説明をしないで一部だけ変更してという行政のあり方はおかしい。(南区)	議会としては、H23年2月定例会において①「合併協議で約束した概略ルートで推進すべきである」②「県道白根亀田線を使用するルートを推進するのであれば、道路計画そのものを白紙撤回すること」との陳情第53号を賛成少数で不採択としています。反対の理由は、効率性や費用対効果等の観点から、執行部案のほうがまさっているとの理解及び、スケジュール的にかなり進捗している状況を判断してのことでありご理解をいただきたいと思ひます。ご指摘の区間については、周辺住民の生活環境や工業団地アクセスなどへの影響を総合的に判断した結果であり、計画縦覧期間でも反対の意見書はなく、地元の方々からは理解を得られたものと認識しています。
	合併建設計画「高井橋」について、現在工事をしているが、白根側は歩道があるが、味方側はない。歩道をつけることができないのであれば、古い橋を残してはどうか。(南区)	高井橋整備事業は、旧白根市の合併建設事業として、高井橋の架け替えと右岸側取付道路の整備を行うもので、現在の高井橋は歩道がなく危険であることや橋の幅員が狭く、すれ違いができないことから、新しい橋は車道幅員を7mとし、幅員3.5mの歩道を新設して車両通行の円滑化と歩行者等の安全確保を図る計画としています。左岸側の取付道路については、平成21年7月に吉井地区で開催した坂路の改修計画の説明会において、望ましい交通のネットワークとして、市道味方幹線9号線への延伸について説明しましたが、現段階では地元の合意形成が得られないことなどから、味方側では高井橋の利用者のため、堤防下の市道と高井橋を結ぶ横断歩道と堤防法面に階段を造る計画としています。なお、新しい橋には、現橋幅3.5mと同じ幅員の歩道を設けることから、古い橋を残して利用する計画はありません。
	議員が交代で対応する議会110番など気軽に相談できる窓口がほしい。(南区)	議会110番の設置は難しいと思ひますが、新潟市議会のホームページには議員の住所や連絡先も掲載しておりますのでお気軽にご相談ください。
	合併により公共施設で使用されない空き室がかなりあるのではないか。有効利用は検討されているのか。(西蒲区)	市内の公共施設について、空き室があれば有効活用を求めていきます。なお、西蒲区においては、旧瀧東村、旧岩室村の議場はコンサートホールに改修しているほか、旧西川町役場は西部地域土木事務所や総合教育センターとして活用しています。旧中之口村役場は合併建設計画で改修予定としており、活用方法は検討中です。その他の施設は文書庫等として利用しています。